直轄工事における総合評価落札方式等の実施状況
【令和4年度実績】

構　成

1.　総合評価落札方式の適用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2.　競争の程度の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3.　落札率・入札率の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
4.　技術評価の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
5.　総合評価の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
6.　総合評価の導入と工事成績評定点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

令和4年度　年次報告のポイント

国土交通省
国土技術政策総合研究所
National Institute for Land and Infrastructure Management

国土交通省の地方整備局が令和4年度に契約した工事は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約含め合計7,097件となっている。(※1)　国土交通省の直轄工事では平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受け、総合評価落札方式を適用することにより公共工事の品質確保を図っており、この総合評価落札方式を適用した工事についてこれまでの経年状況と併せて概観するために、令和4年度年次報告として実施状況を整理した。(※2)

1. 総合評価落札方式の適用状況

- 令和4年度の総合評価落札方式適用率(※3)は件数で99.8%、金額で99.96%。(P1～2)
- 令和4年度の総合評価落札方式の適用状況のうち、各契約タイプにおける内訳は件数シェアで施工能力評価型(Ⅱ型)が80.3%で最も多く、同(Ⅰ型)が13.9%、技術提案評価型(S型)が5.8%。金額シェアで施工能力評価型(Ⅱ型)が52.9% 、同(Ⅰ型)が13.8%、技術提案評価型(S型)が33.3%。(P1～2)

2. 競争の程度の状況

- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型は6.2者で前年度より微増。技術提案評価型(S型)は5.6者で前年度より微減。WTO技術提案評価型(S型)(※4)は13.5者で前年度より減少。(P3)

3. 落札率、入札率の状況

- 令和4年度の平均入札率について、落札者は93.5%、非落札者は94.9%であり、前年度から微増。(P6)

4. 技術評価の状況

- 技術評価点1位と2位の得点差は技術提案評価型(S型)で平均2.3%、施工能力評価型Ⅰ型・Ⅱ型それぞれ平均2.3%・2.8%、WTO技術提案評価型(S型)は2.2%である。(P11)

5. 総合評価の特徴

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で令和4年度は86%であり、前年度から微減。技術提案評価型(S型)で94%であり、前年度から横ばい。(P13～14)

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

- 工事成績評定点の平均は経年で上昇傾向となっており、近年80点前後で推移。平均的に一定の水準が確保されている。(P17)

(※1) 国土交通省直轄工事等契約関係資料　令和5年度版　(令和4年度実績)より　国土交通省の8地方整備局の契約工事で、港湾・空港関係の工事を含む。
(※2) 当年次報告は総合評価落札方式の実施状況について経年変化を見るために分析を行ったもので、随意契約等の契約方式については対象としていない。
(※3) 総合評価落札方式実施数／契約数(総合評価落札方式＋価格競争)により算出している。
(※4) 「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうち、WTO対象額以上の工事を示す。

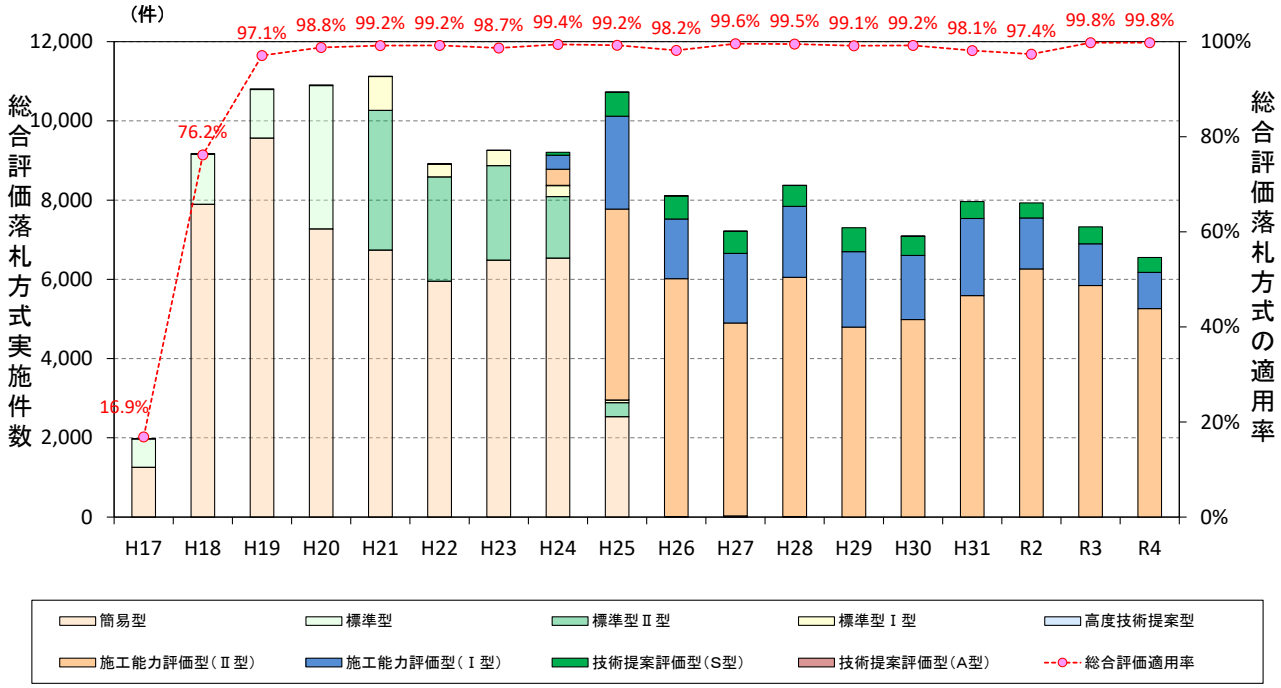
1. 総合評価落札方式の適用状況

（１）総合評価落札方式適用件数、金額〔経年の推移〕

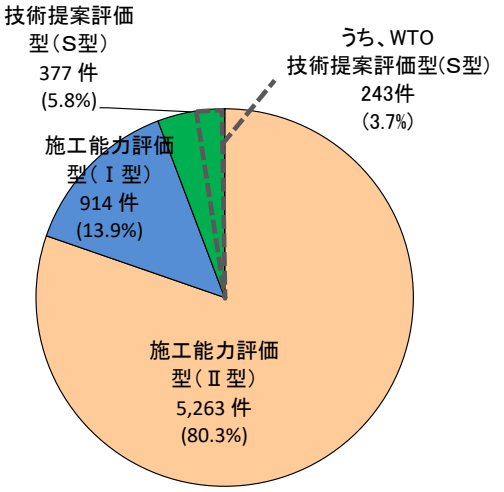
①実施件数

- 国土交通省の公共工事発注に占める総合評価落札方式の件数割合は、平成19年度以降、97%以上で推移している。
- 総合評価落札方式の件数シェアは、施工能力評価型が9割以上、中でもⅡ型が約8割を占める。

【 実施件数（平成17年度～令和４年度）】



【 件数シェア（令和４年度）】



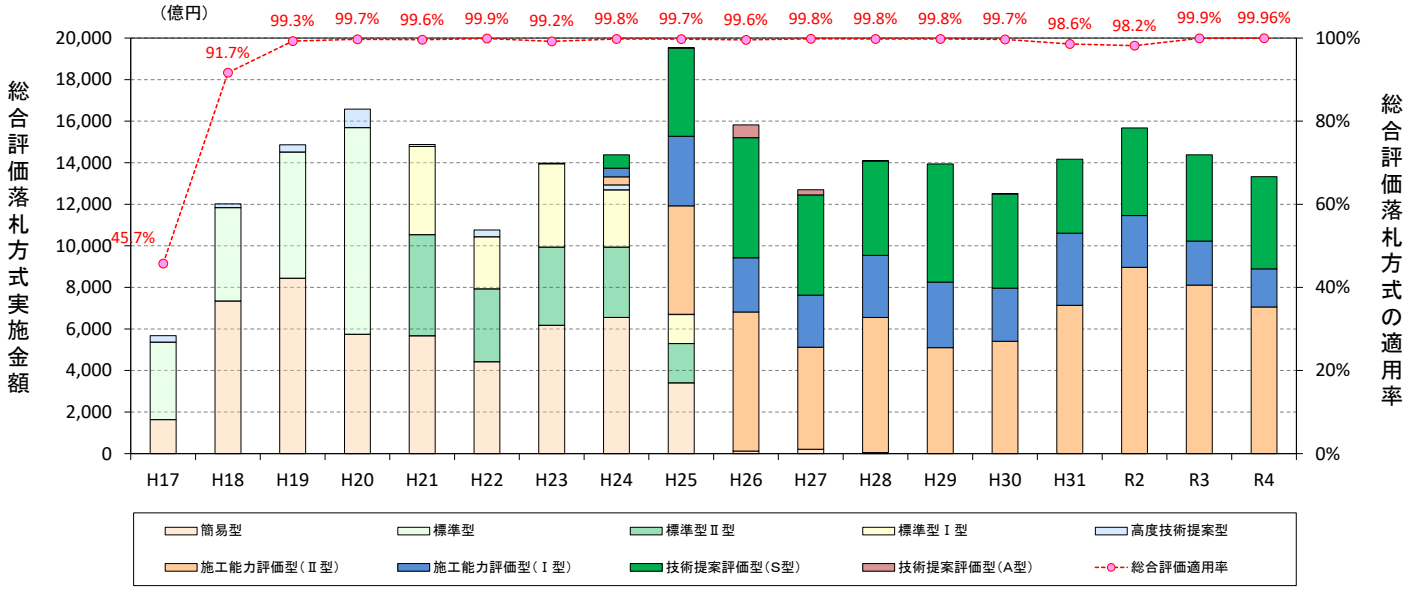
注1）8地方整備局の工事を対象 （港湾・空港関係工事を含む）
注2）適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合
注3）令和4年度は上記の他、価格競争、随意契約等による総合評価方式以外の工事216件の契約を締結

1. 総合評価落札方式の適用状況

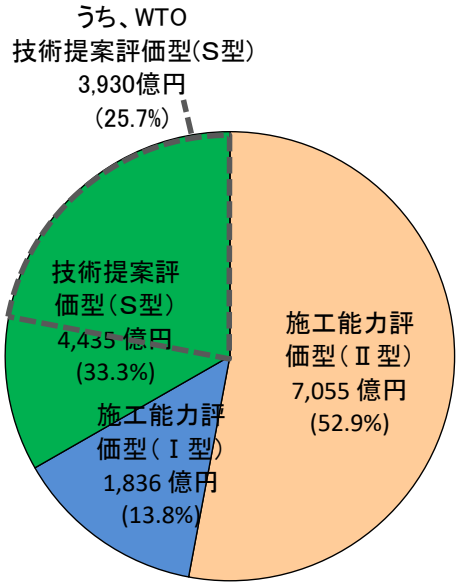
②実施金額（契約額）

- 国土交通省の公共工事発注に占める総合評価落札方式の金額割合は、平成19年度以降、98%以上で推移している。
- 総合評価落札方式の金額シェアは、施工能力評価型が約7割、技術提案評価型（S型）が約3割を占める。

【 実施金額（平成17年度～令和４年度）】



【 金額シェア（令和４年度 ）】



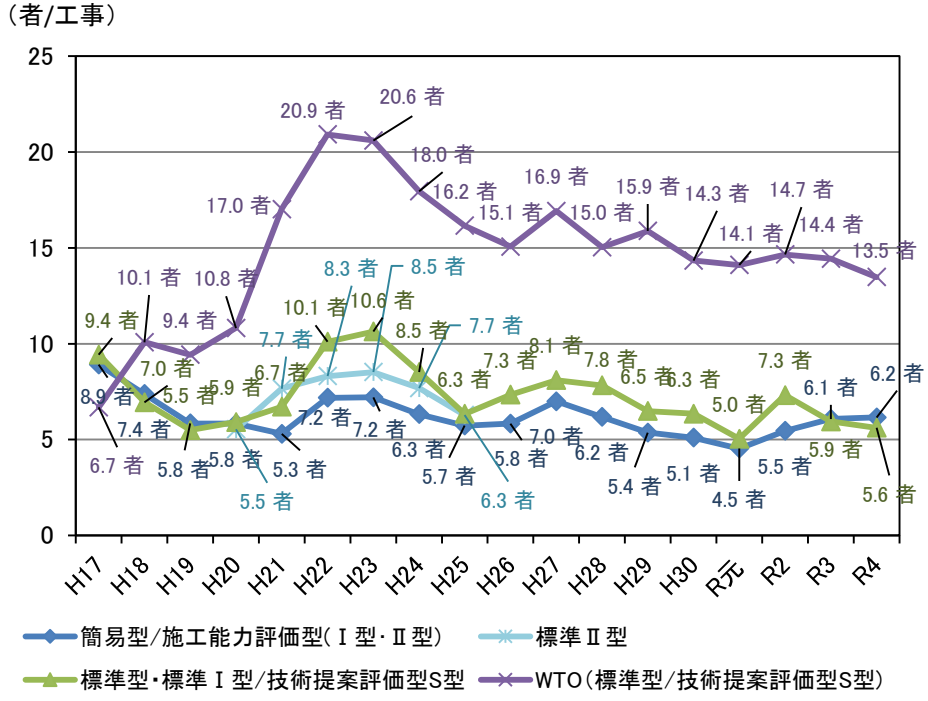
注1）8地方整備局の工事を対象 （港湾・空港関係工事を含む）
注2）適用率は随意契約を除く全発注工事金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合
注3）実施金額は契約額（税抜）
注4）令和4年度は上記の他、価格競争、随意契約等による総合評価方式以外の1950億円（216件）の工事の契約を締結

2. 競争の程度の状況

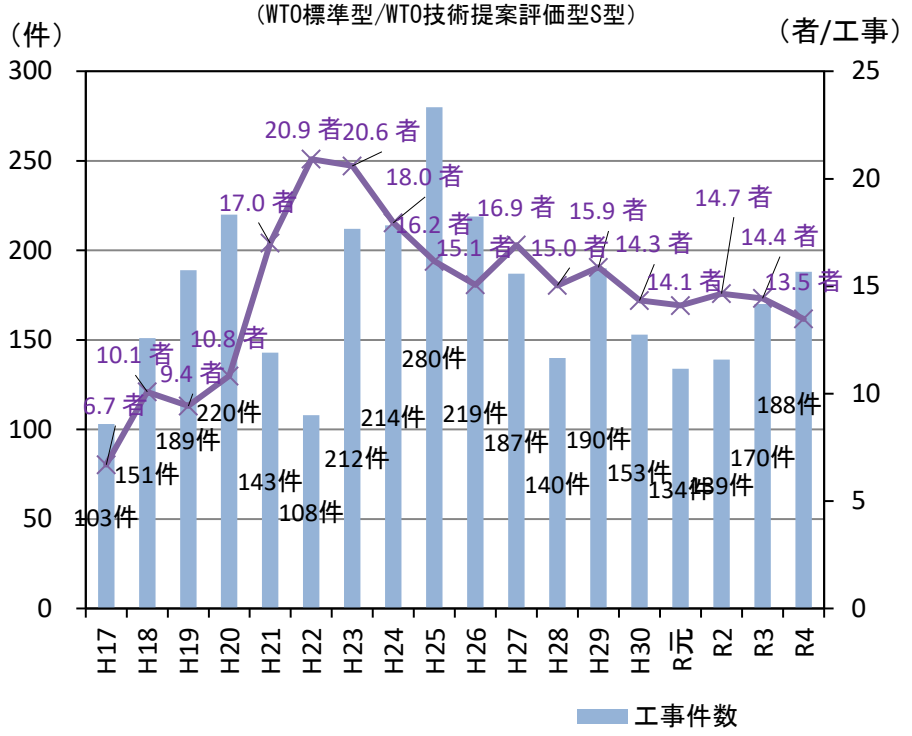
（１）１工事あたりの競争参加者数〔経年の推移〕

- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型で6.2者であり、前年度と同等である。また、技術提案評価型（S型）は5.5者となっており、前年度より減少した。
- WTO技術提案評価型（S型）の１工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型、技術提案評価型（S型）に比べて多いものの、経年では緩やかな減少傾向を示しており、令和4年度は13.5者となっている。

【 １工事あたりの競争参加者数 】



【 工事件数の推移と１工事あたりの競争参加者数 】
（WTO標準型/WTO技術提案評価型S型）



注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争　・高度技術提案型/技術提案評価型A型
・加算方式の試行工事（平成19年度）
注2）平成22年度以前の競争参加者数は7地方整備局で集計

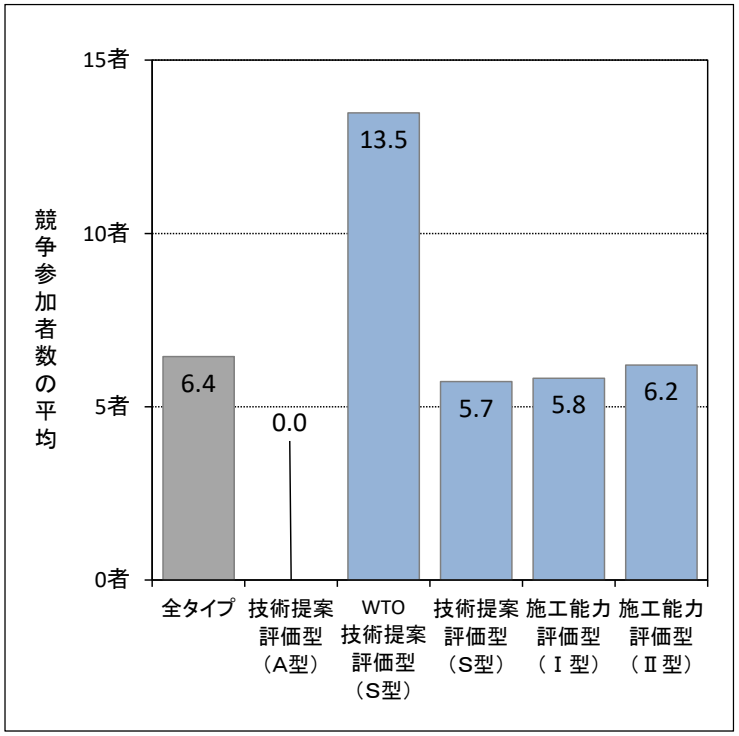
注3）競争参加者数には無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。
注4）「WTO（標準型）」は、標準Ⅰ型、標準Ⅱ型のうちWTO対象額以上の工事、「WTO技術提案評価型（S型）」は、技術提案評価型（S型）のうちWTO対象額以上の工事を示す。（以後、同様）

2. 競争の程度の状況

（２）契約タイプ別、工事種別別の競争参加状況 〔令和４年度〕

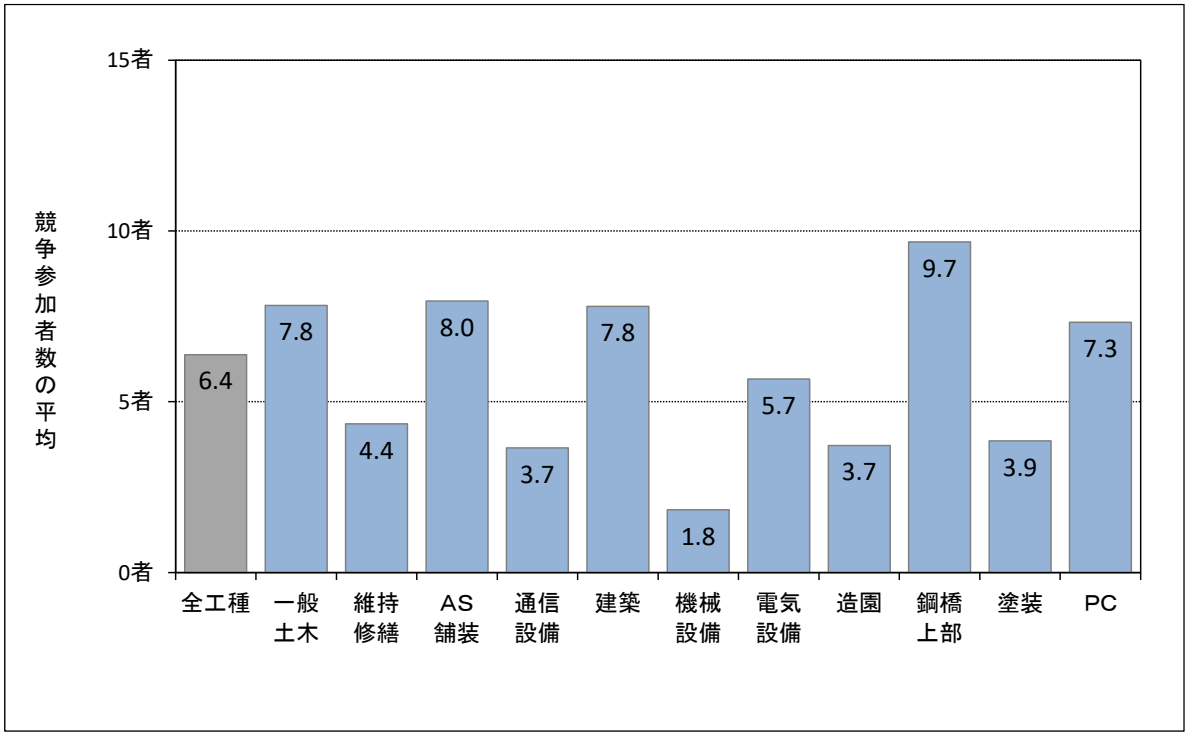
- 総合評価の契約タイプ別では、WTO技術提案評価型（S型）では平均13.5者と多くなっている。
  また、その他のタイプでは、平均5～6者となっている。
- 工事種別別では、鋼橋上部で平均9.7者、AS舗装で8.0者、一般土木で7.8者、建築で7.8者、PCで7.3者と多くなっている。

【 契約タイプ別・競争参加者数の平均 】



※ 技術提案評価型（A型）の工事はなし

【 工事種別別・競争参加者数の平均 】



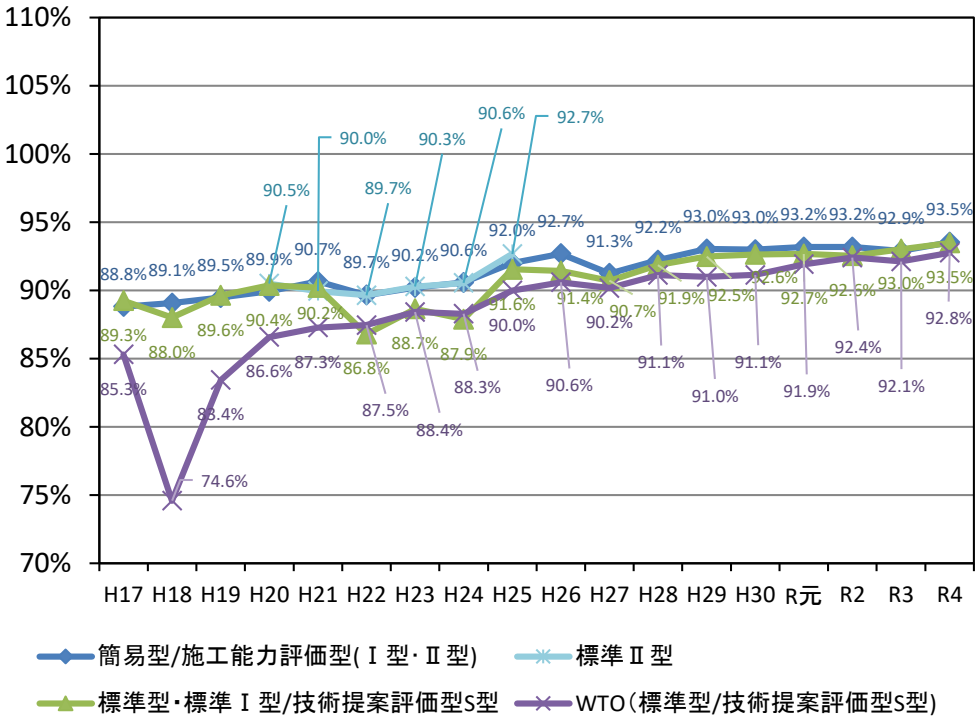
注1）8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象
注2）競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

3. 落札率・入札率の状況

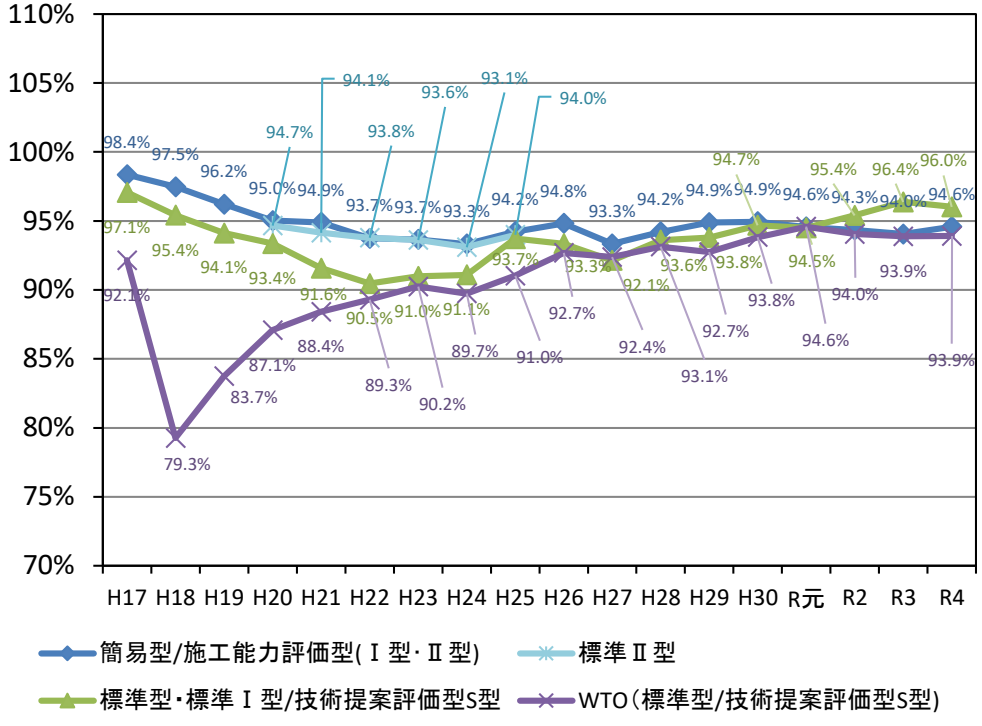
（１）平均落札率・平均入札率

- 平均落札率は、施工能力評価型（Ⅰ型・Ⅱ型）、技術提案評価型（S型）がともに93.5%、WTO技術提案評価型（S型）が92.8%と前年からと前年から微増している。
- 平均入札率は、施工能力評価型（Ⅰ型・Ⅱ型）が94.6%と前年から微増、技術提案評価型（S型）が96.0%で微減、WTO技術提案評価型（S型）は93.9%と前年同等である。

【 落　札　率 】



【 入　札　率 】



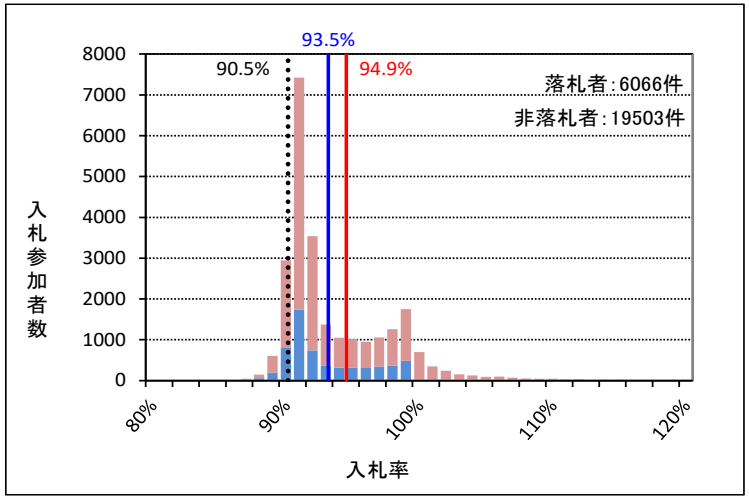
注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争　・高度技術提案型/技術提案評価型A型　・加算方式の試行工事（平成19年度）
注2）落札率は「落札価格÷予定価格の工事平均、入札率は「入札価格÷予定価格」の入札参加者平均を算出

3. 落札率・入札率の状況

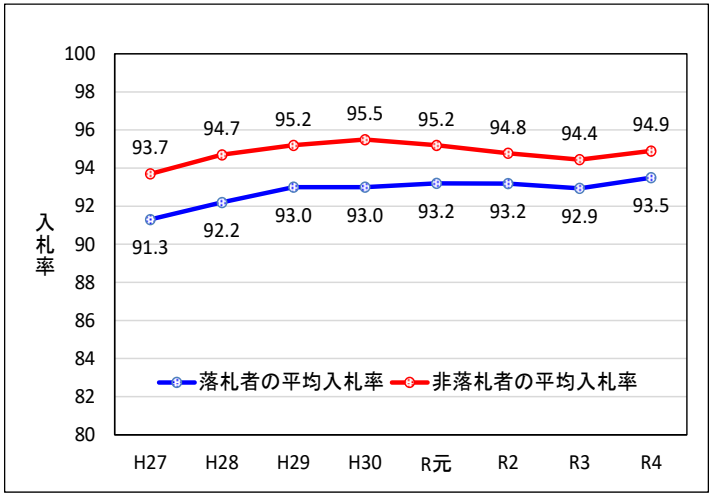
（２）入札率の分布〔経年変化〕

- 入札率の分布は調査基準価格付近で多く、落札者の平均入札率は令和４年度に93.5%
- 非落札者の入札率は94.9%であり、平成30年から微減傾向がR4は上昇に転じた。
- 調査基準価格の導入等の対策により、ダンピングの問題は生じていない

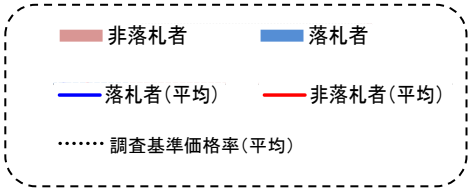
【 令和４年度 】



【 平均入札率の経年変化 】

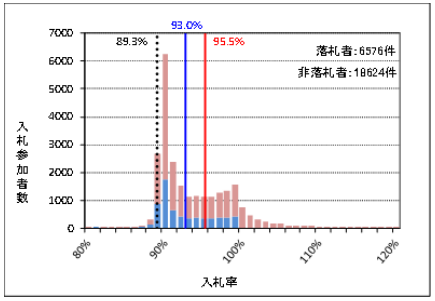


〔凡例〕

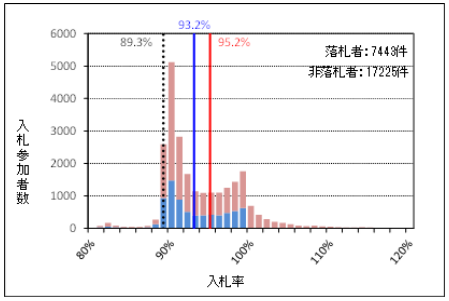


注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争
・調査基準価格が設定されていない工事
注2）入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3）「調査基準価格率」とは、調査基準価格を予定価格で除して算出した数値

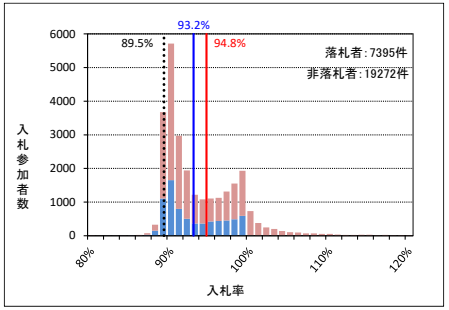
【 平成30年度 】



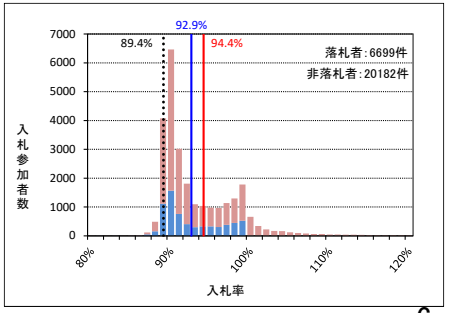
【令和元年度 】



【 令和２年度 】



【 令和３年度 】



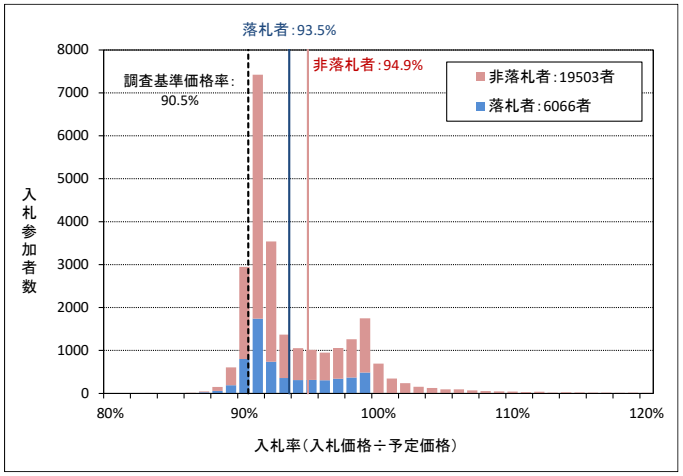
3. 落札率・入札率の状況

（３）入札率の分布〔令和４年度〕

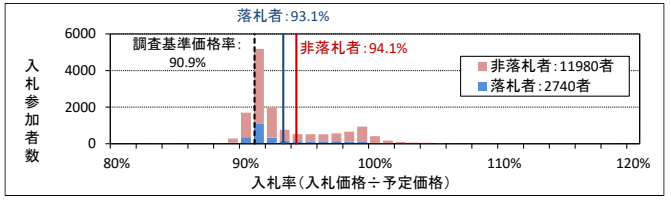
①工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部 、PCでは、入札率の分布が調査基準価格付近に集中している。

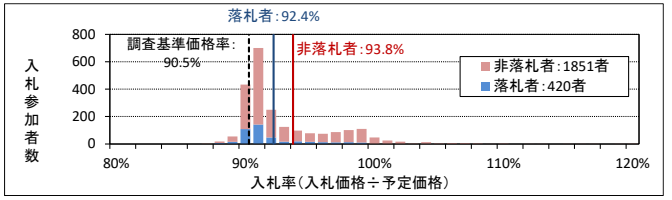
〔全工事種別〕
工事件数：6066件
平均工事規模(予定価格)：223百万円
平均入札参加者数：4.2者



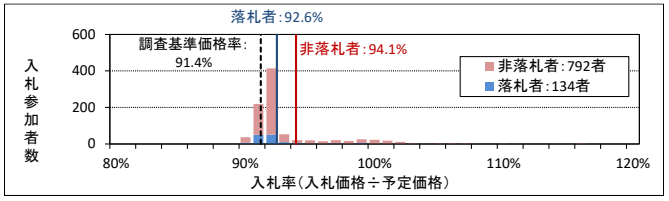
〔一般土木〕
工事件数：2740件
平均工事規模(予定価格)：270百万円
平均入札参加者数：5.4者



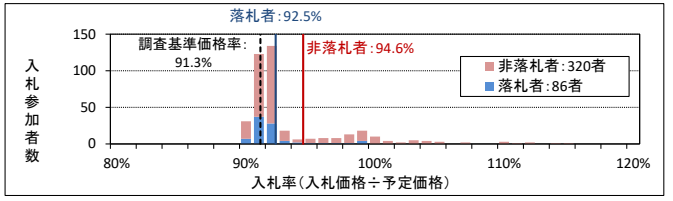
〔AS舗装〕
工事件数：420件
平均工事規模(予定価格)：163百万円
平均入札参加者数：5.4者



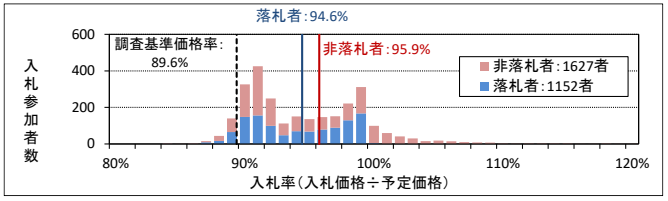
〔鋼橋上部〕
工事件数：134件
平均工事規模(予定価格)：874百万円
平均入札参加者数：6.9者



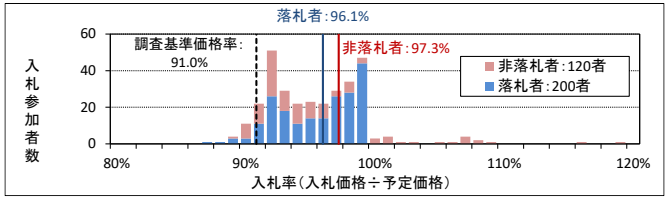
〔PC〕
工事件数：86件
平均工事規模(予定価格)：560百万円
平均入札参加者数：4.7者



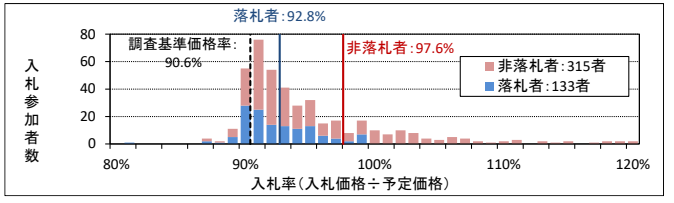
〔維持修繕〕
工事件数：1152件
平均工事規模(予定価格)：126百万円
平均入札参加者数：2.4者



〔機械設備〕
工事件数：200件
平均工事規模(予定価格)：154百万円
平均入札参加者数：1.6者



〔電気設備〕
工事件数：133件
平均工事規模(予定価格)：153百万円
平均入札参加者数：3.4者



注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争
・調査基準価格が設定されていない工事

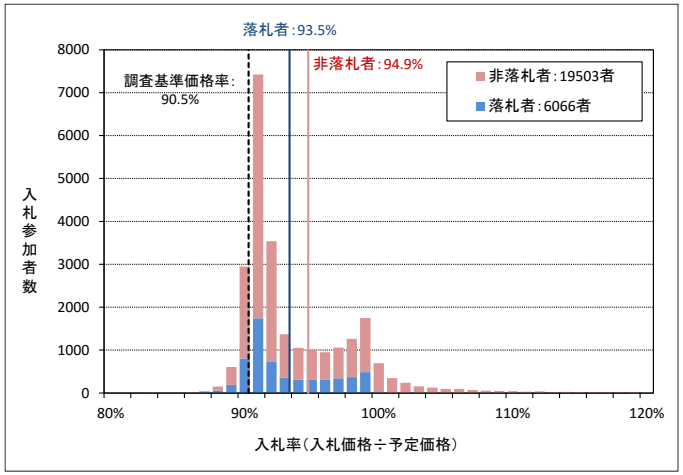
注2）入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3）平均工事規模は、予定価格（税込み）とする。

3. 落札率・入札率の状況

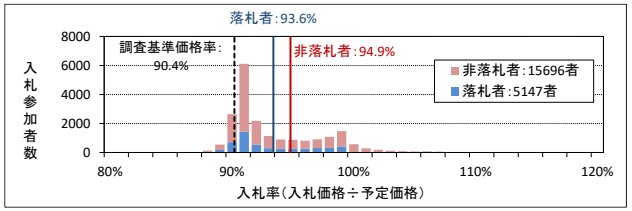
②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型（S型）では、「入札率」の分布が他の契約タイプよりも調査基準価格付近に集中している。

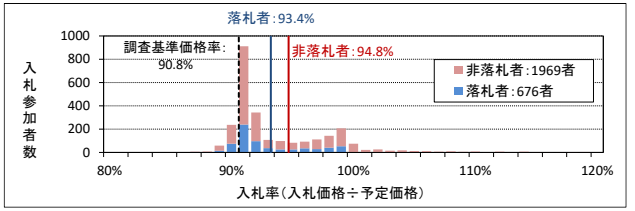
〔全タイプ〕
工事件数：6066件
平均工事規模(予定価格)：223百万円
平均入札参加者数：4.2者



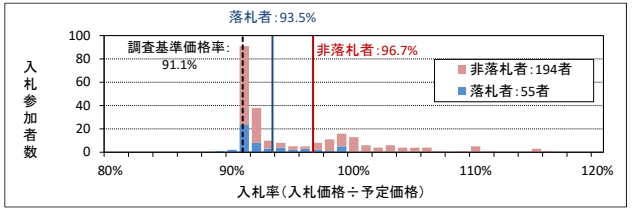
〔施工能力評価型（Ⅱ型）〕
工事件数：5147件
平均工事規模(予定価格)：157百万円
平均入札参加者数：4.0者



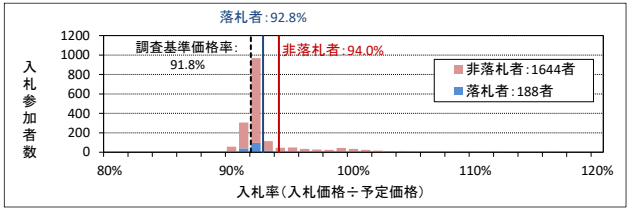
〔施工能力評価型（Ⅰ型）〕
工事件数：676件
平均工事規模(予定価格)：246百万円
平均入札参加者数：3.9者



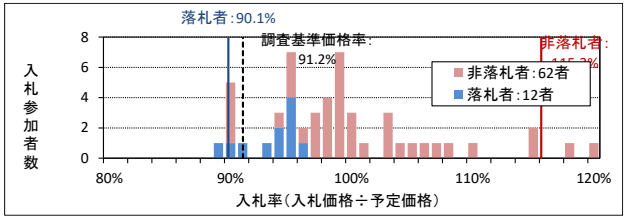
〔技術提案評価型（S型）〕
工事件数：55件
平均工事規模(予定価格)：378百万円
平均入札参加者数：4.5者



〔WTO技術提案評価型（S型）〕
工事件数：188件
平均工事規模(予定価格)：1929百万円
平均入札参加者数：9.7者



〔価格競争〕
工事件数：12件
平均工事規模(予定価格)：53百万円
平均入札参加者数：5.9者



注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争
・調査基準価格が設定されていない工事

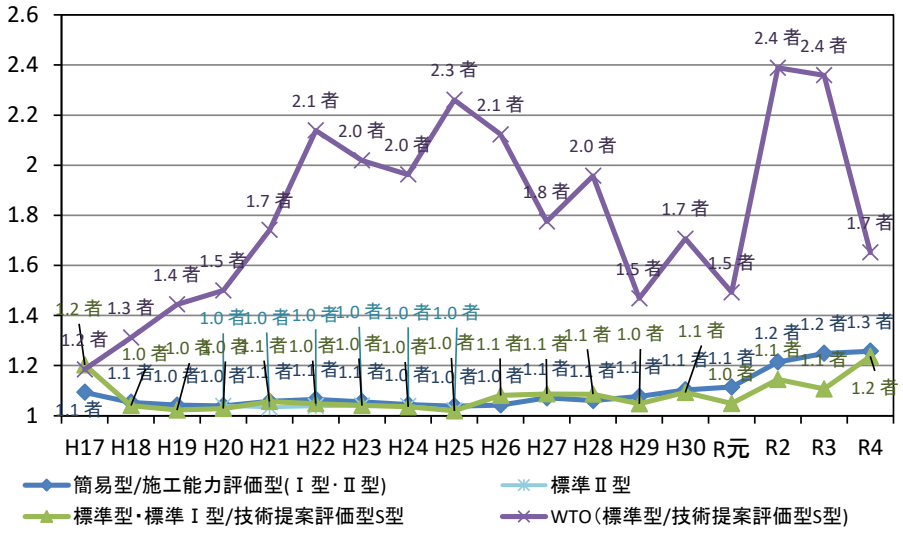
注2）入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3）平均工事規模は、予定価格（税込み）とする。

4. 技術評価の状況

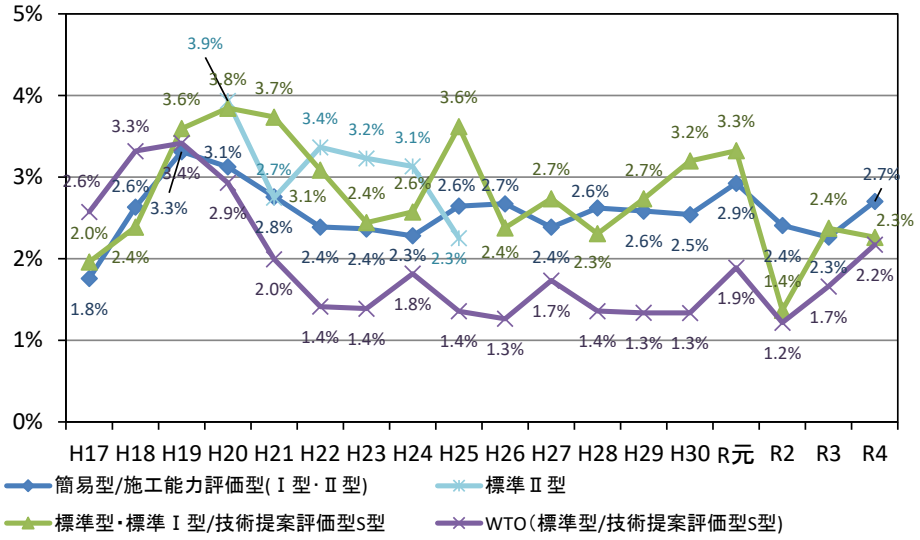
（１）技術評価点1位と2位の得点率の差・落札者と非落札者の得点率の差〔経年の推移〕

- 技術評価点１位同点者数は、技術提案評価型（S型）で1.2者と微増、WTO技術提案評価型（S型）では1.7者と前年度から減少。
- 技術評価点1位と2位の得点差は、年度ごとの増減はあるものの、過去から大きな傾向の変化は認められない。

【 技術評価点１位同点者数 】



【 技術評価点１位と２位の得点率の差 】



注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争　・高度技術提案型/技術提案評価型A型
・加算方式の試行工事（平成19年度）
注2）技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

注3）以下の工事は比較から除いている。
・予定価格内1者の案件（「技術評価点1位と2位の得点率の差」の集計）

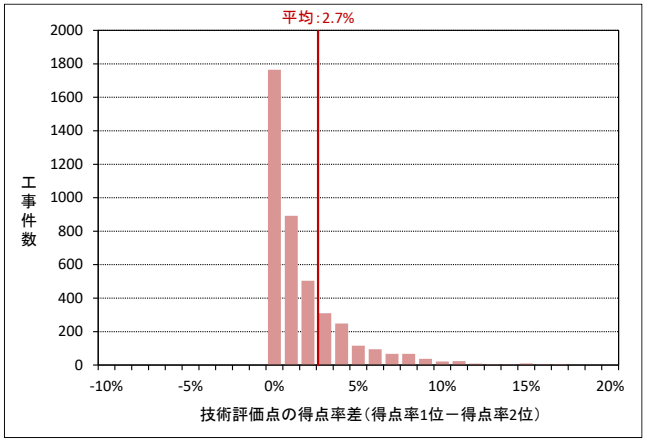
4. 技術評価の状況

（２）１位と２位の得点率の差の分布〔令和4年度〕

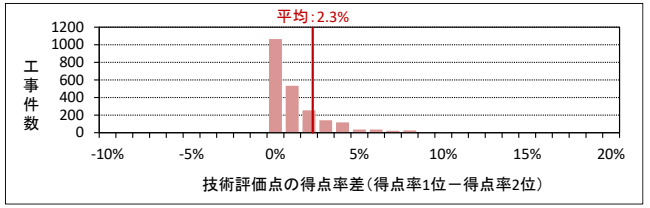
①工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他の工事種別と比べて小さい。

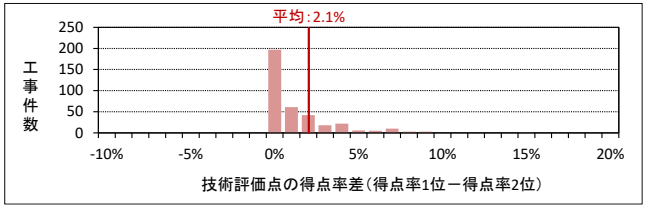
〔全工事種別〕
工事件数：4232件
平均工事規模(予定価格)：256百万円
平均入札参加者数：5.5者



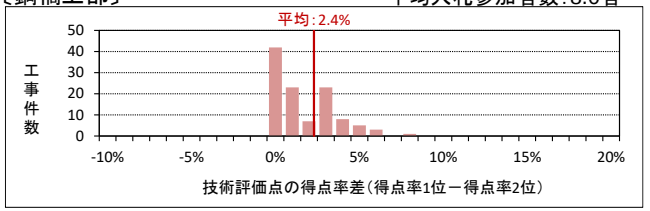
〔一般土木〕
工事件数：2288件
平均工事規模(予定価格)：285百万円
平均入札参加者数：6.2者



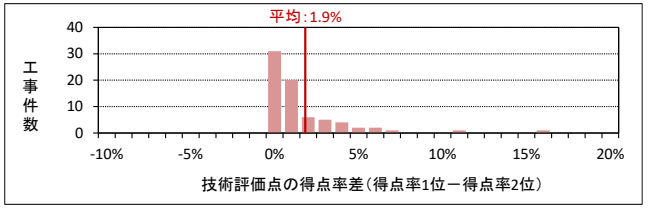
〔AS舗装〕
工事件数：371件
平均工事規模(予定価格)：170百万円
平均入札参加者数：5.9者



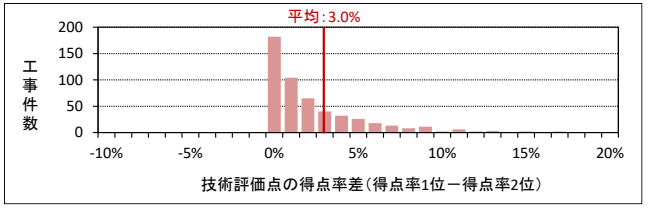
〔鋼橋上部〕
工事件数：113件
平均工事規模(予定価格)：982百万円
平均入札参加者数：8.0者



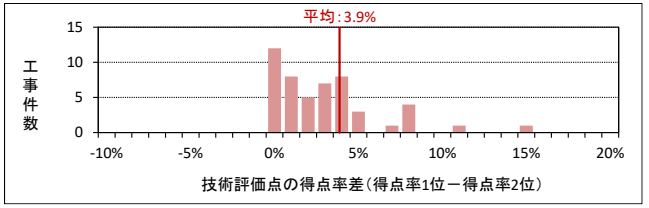
〔PC〕
工事件数：73件
平均工事規模(予定価格)：622百万円
平均入札参加者数：5.3者



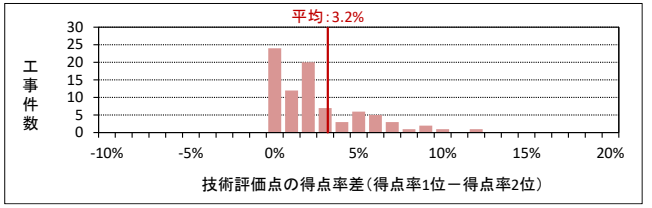
〔維持修繕〕
工事件数：522件
平均工事規模(予定価格)：111百万円
平均入札参加者数：3.9者



〔機械設備〕
工事件数：51件
平均工事規模(予定価格)：231百万円
平均入札参加者数：3.2者



〔電気設備〕
工事件数：86件
平均工事規模(予定価格)：157百万円
平均入札参加者数：4.3者



注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争
・予定価格内1者の案件

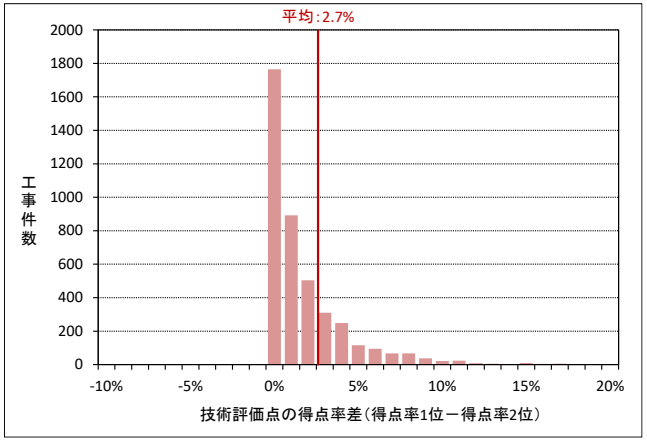
注2）得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注3）平均工事規模は、予定価格（税込み）とする。

4. 技術評価の状況

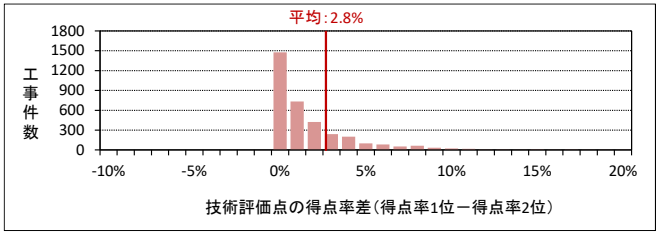
②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型（S型）における「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他のタイプと比べて小さい。

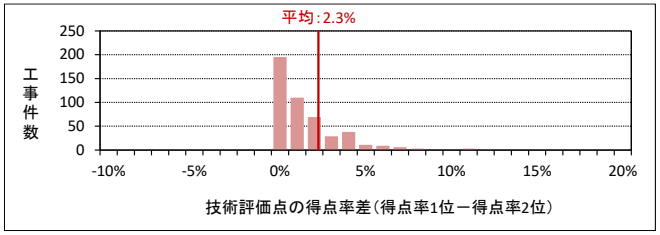
〔全タイプ〕
工事件数：4232件
平均工事規模(予定価格)：256百万円
平均入札参加者数：5.5者



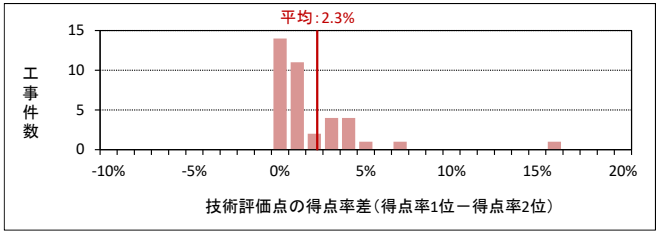
〔施工能力評価型（Ⅱ型）〕
工事件数：3540件
平均工事規模(予定価格)：170百万円
平均入札参加者数：5.3者



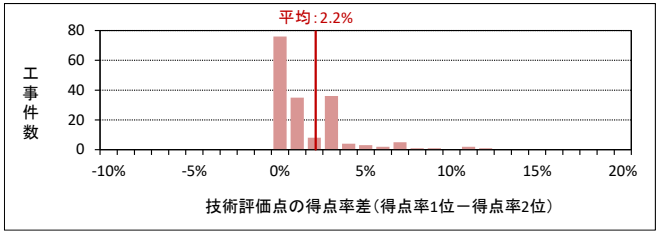
〔施工能力評価型（Ⅰ型）〕
工事件数479件
平均工事規模(予定価格)：256百万円
平均入札参加者数：5.0者



〔技術提案評価型（S型）〕
工事件数：38件
平均工事規模(予定価格)：410百万円
平均入札参加者数：6.1者



〔WTO技術提案評価型（S型）〕
工事件数：175件
平均工事規模(予定価格)：1959百万円
平均入札参加者数：10.4者



注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争
・予定価格内1者の案件

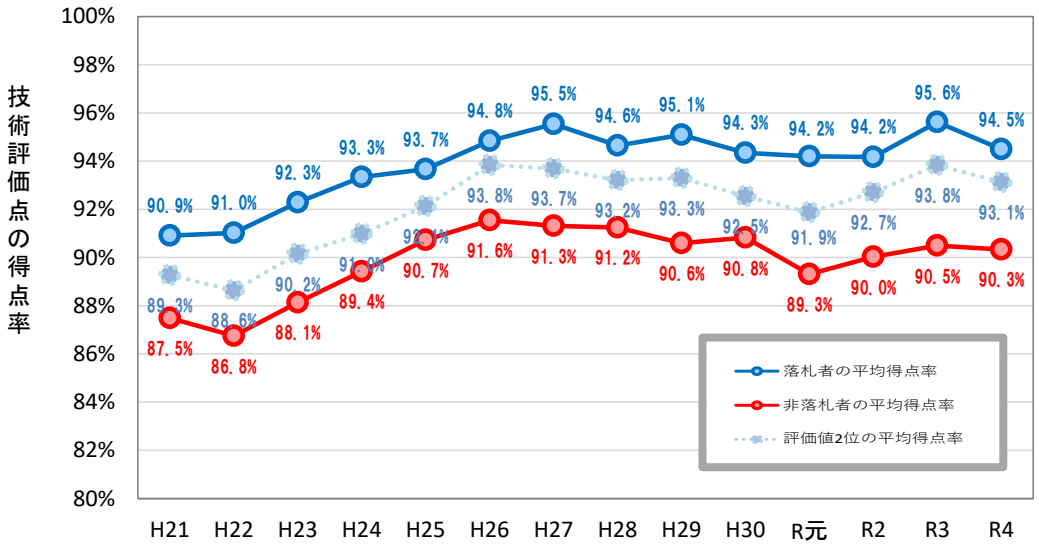
注2）得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注3）平均工事規模は、予定価格（税込み）とする。

4. 技術評価の状況

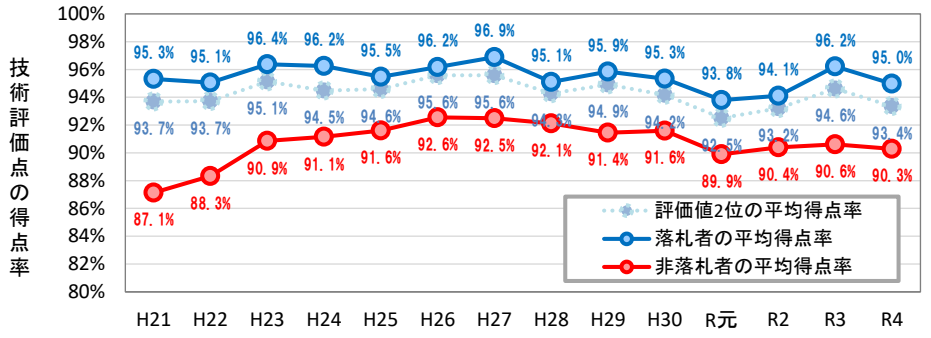
（３）技術提案評価型Ｓ型の技術評価点の推移

■ 技術提案評価型S型においては、落札者と非落札者の技術点差はそれほどついていない。

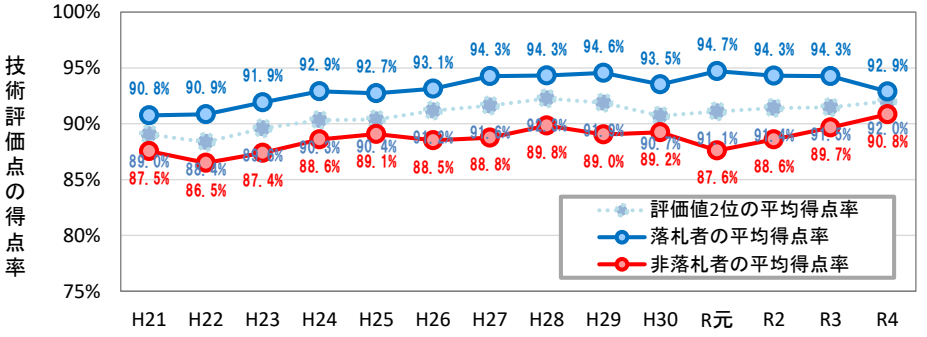
【 技術評価点の得点率　S型全体 】



【 技術評価点の得点率　S型（WTO） 】



【 技術評価点の得点率　S型（WTO対象外） 】



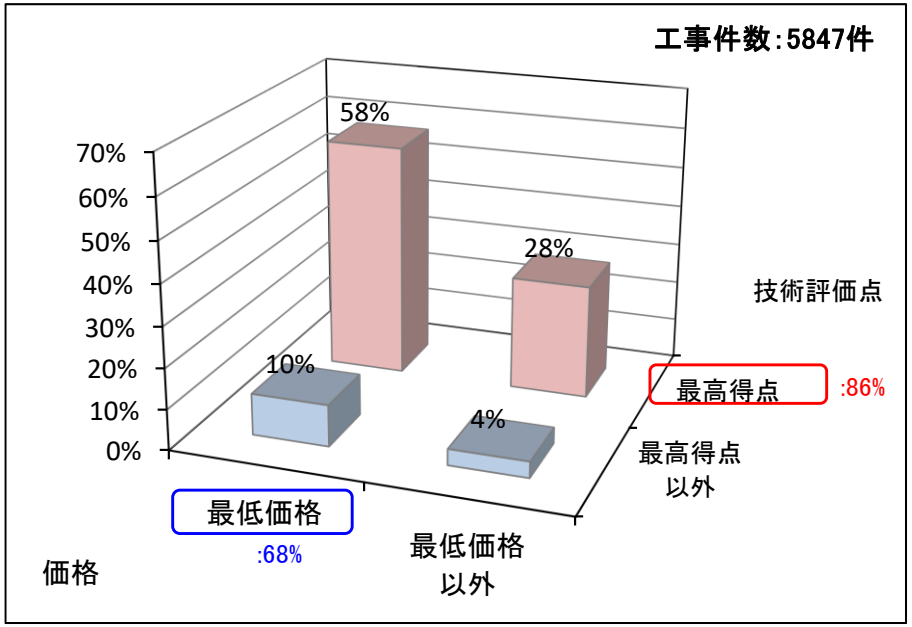
注）8地方整備局（港湾・空港関係工事を除く）の技術提案評価型S型（標準型含）工事を対象。
　　非落札者の平均得点率は予定価格内の入札者を対象に算出。

5. 総合評価の特徴

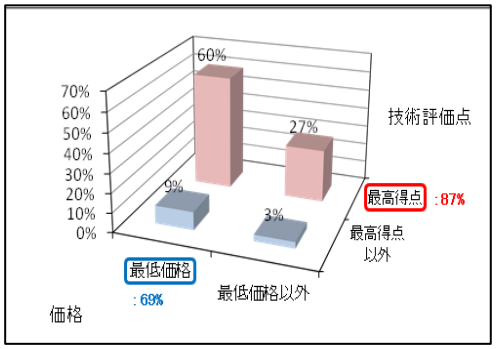
（１）落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合［施工能力評価型］〔経年変化〕

- 落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、令和４年度は86%
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、令和４年度は68%
- 最高得点かつ最低価格の競争参加者が58%を占める状況。

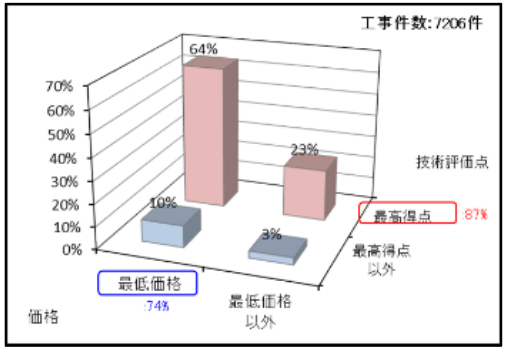
【令和４年度】



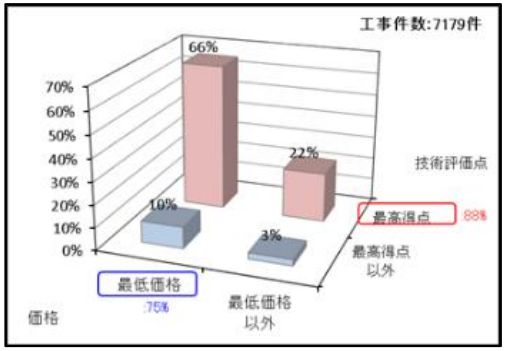
【令和３年度】



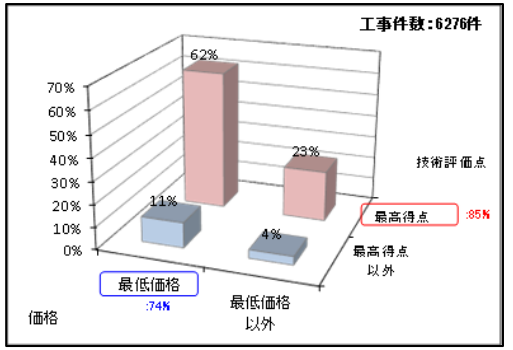
【令和２年度】



【令和元年度】



【平成30年度】



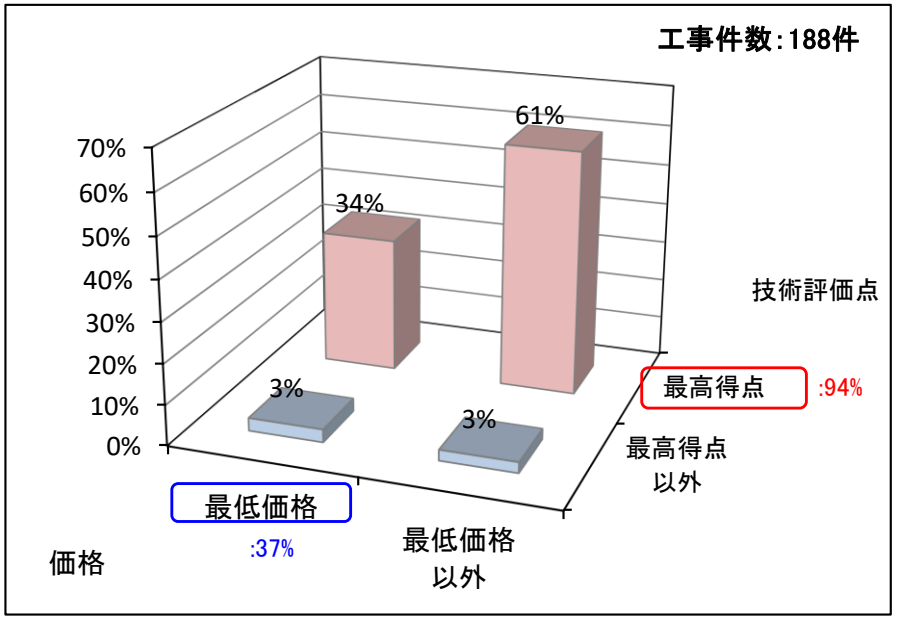
注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争
注2）施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む
注3）価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 総合評価の特徴

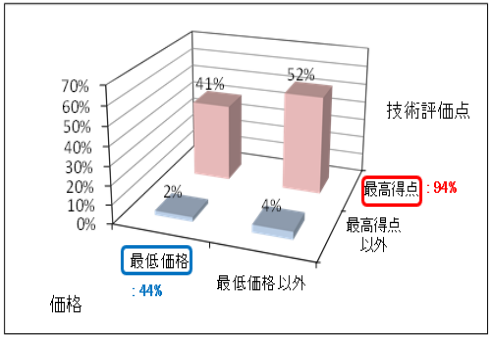
（２）落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合［WTO技術提案評価型（S型）］〔経年変化〕

- WTO技術提案評価型（S型）の落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、平成28年度～令和元年度は84%～89%で推移していたが、令和2年度から94%に増加し、令和４年度も横ばいの94%であった。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は37%であり、施工能力評価型より低い。

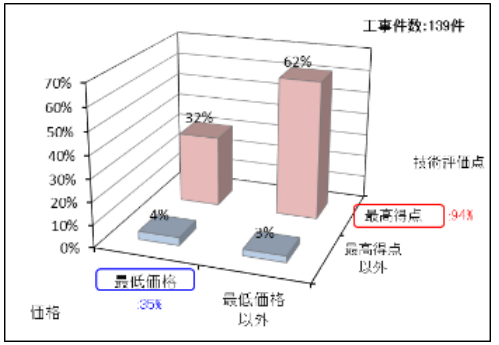
【令和４年度】



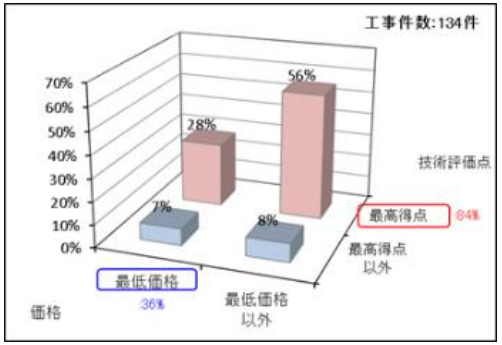
【令和３年度】



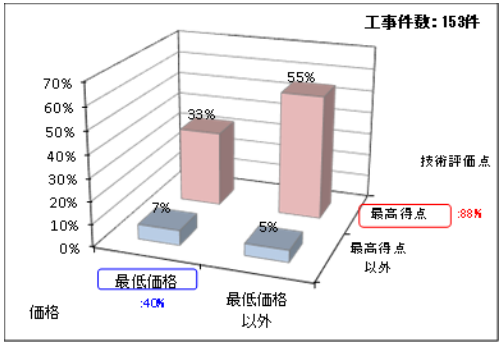
【令和２年度】



【令和元年度】



【平成30年度】



注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争
注2）WTO技術提案評価型（S型）には二極化前のWTO標準型も含む
注3）価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 総合評価の特徴

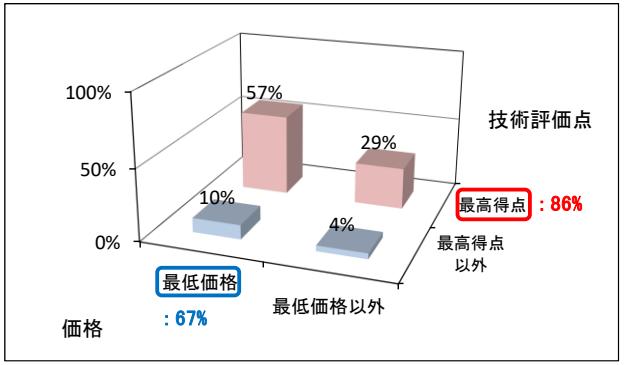
（３）落札者の内訳〔令和4年度〕

①工事種別別

- 一般土木、維持修繕、機械設備、電気設備における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高い。
- 一方で、鋼橋上部、PCでは最高得点かつ最低価格以外の者が落札する割合が高くなっている。

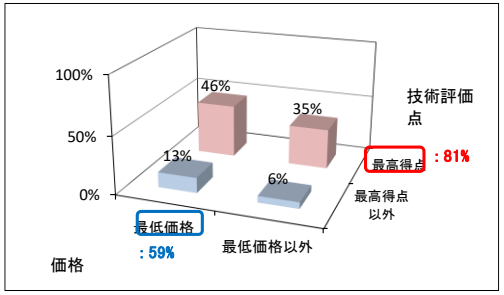
〔全工事種別〕

工事件数：6090件
平均工事規模(予定価格)：223百万円
平均入札参加者数：4.2者



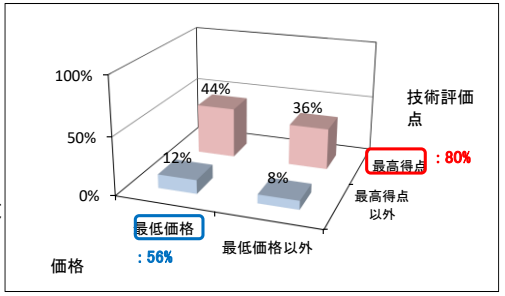
〔一般土木〕

工事件数：2740件
平均工事規模(予定価格)：270百万円
平均入札参加者数：5.4者



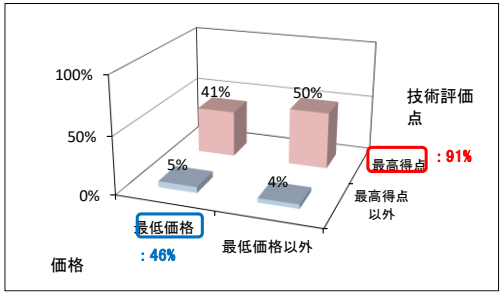
〔AS舗装〕

工事件数：420件
平均工事規模(予定価格)：163百万円
平均入札参加者数：5.4者



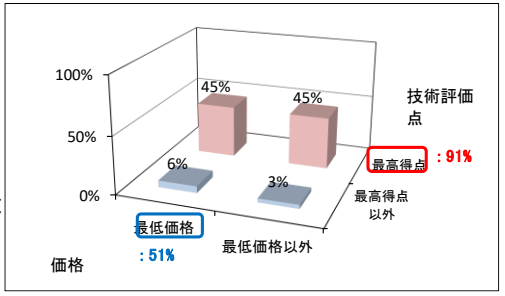
〔鋼橋上部〕

工事件数：134件
平均工事規模(予定価格)：874百万円
平均入札参加者数：6.9者



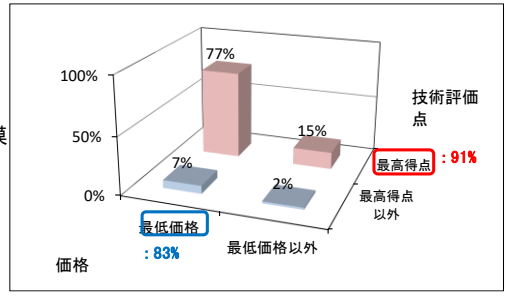
〔PC〕

工事件数：86件
平均工事規模(予定価格)：560百万円
平均入札参加者数：4.7者



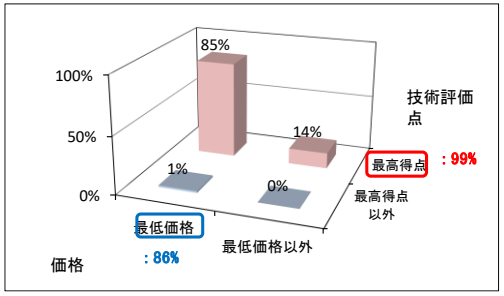
〔維持修繕〕

工事件数：1158件
平均工事規模(予定価格)：125百万円
平均入札参加者数：2.4者



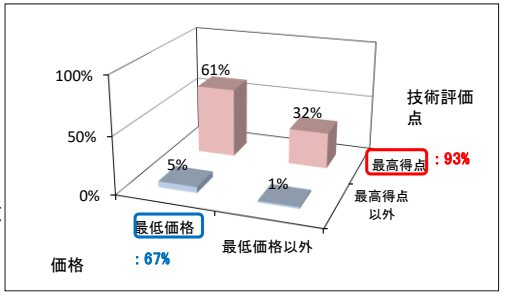
〔機械設備〕

工事件数：204件
平均工事規模(予定価格)：151百万円
平均入札参加者数：1.6者



〔電気設備〕

工事件数：135件
平均工事規模(予定価格)：151百万円
平均入札参加者数：3.3者



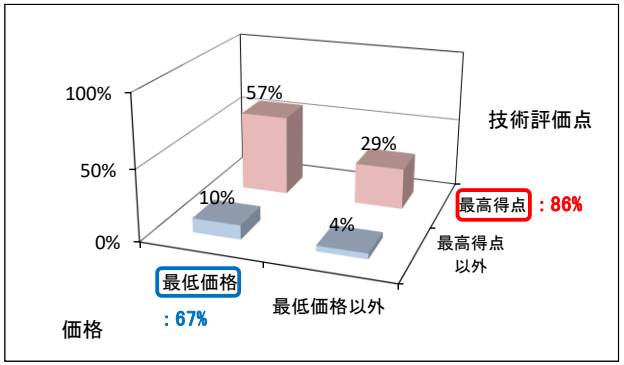
注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争
注2）価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
注3）平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注4）平均工事規模は、予定価格（税込み）とする。

5. 総合評価の特徴

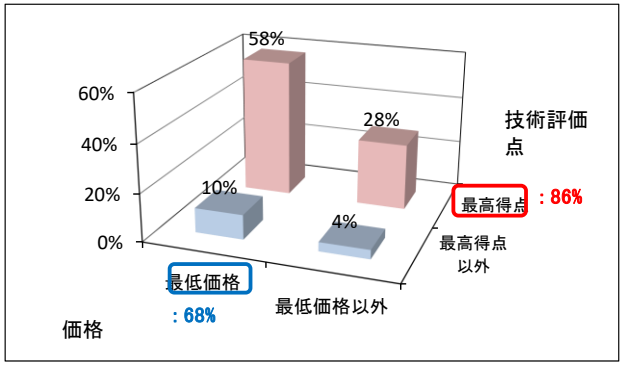
②契約タイプ別

- 施工能力評価型、技術提案評価型（S型）における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高い。
- 一方で、WTO技術提案評価型（S型）では最低価格以外の者の落札が多い。

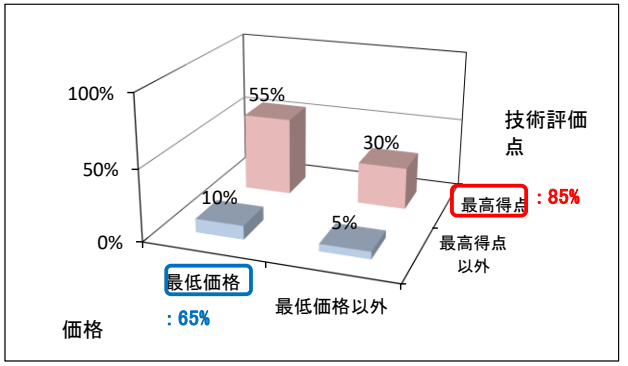
〔全タイプ〕
工事件数：6090件
平均工事規模(予定価格)：223百万円
平均入札参加者数：4.2者



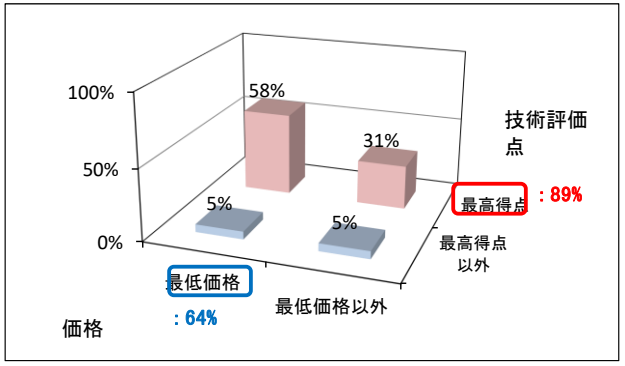
〔施工能力評価型（Ⅱ型）〕
工事件数：5171件
平均工事規模(予定価格)：157百万円
平均入札参加者数：4.0者



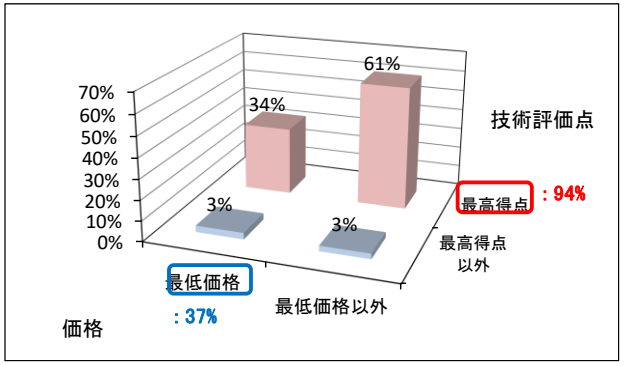
〔施工能力評価型（Ⅰ型）〕
工事件数：676件
平均工事規模(予定価格)：246百万円
平均入札参加者数：3.9者



〔技術提案評価型（S型）〕
工事件数：55件
平均工事規模(予定価格)：378百万円
平均入札参加者数：4.5者



〔WTO技術提案評価型（S型）〕
工事件数：188件
平均工事規模(予定価格)：1929百万円
平均入札参加者数：9.7者

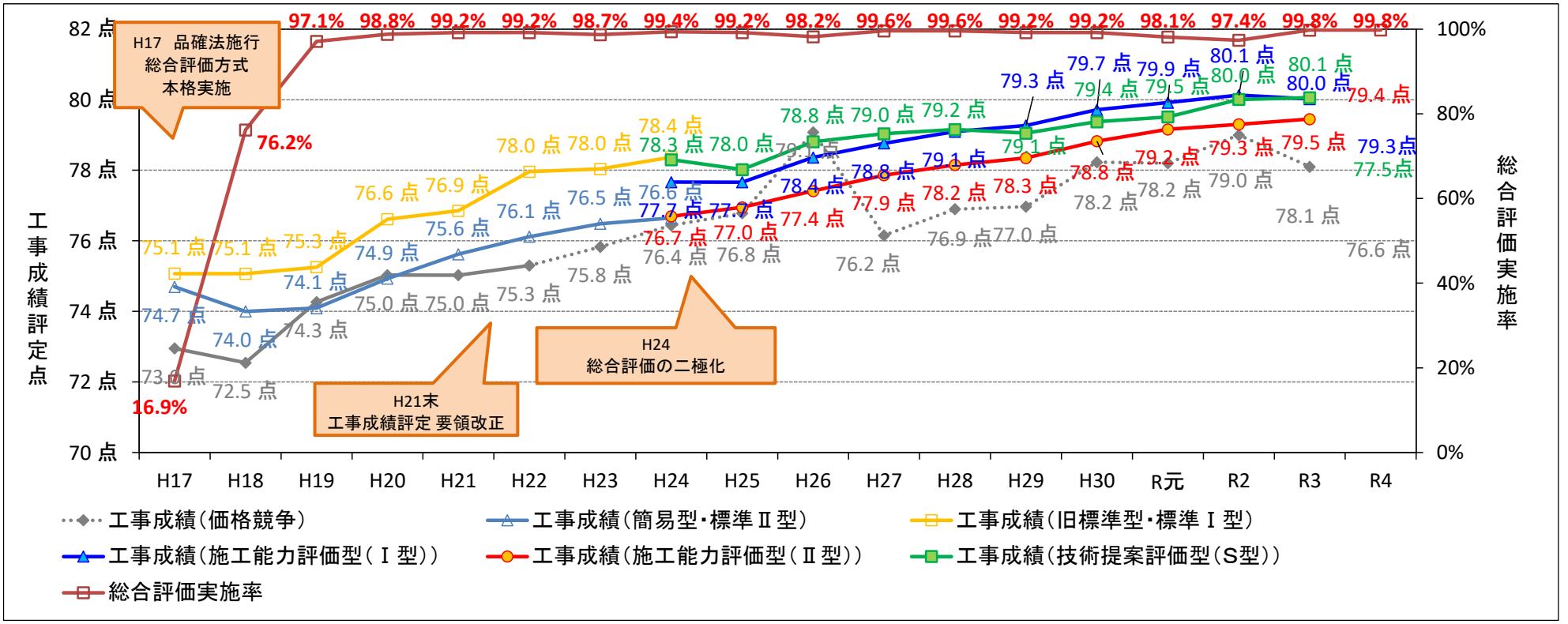


注1）8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事　・価格競争
注2）価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
注3）平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注4）平均工事規模は、予定価格（税込み）とする。

6. 工事成績評定点の推移

（１）工事成績評定点の推移

■ 工事成績評定点の平均は経年で上昇傾向となっており、近年80点前後で推移。平均的に一定の水準が確保されている。



	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H26件数	H27件数	H28件数	H29件数	H30件数	R元件数	R2件数	R3件数	R4件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	50	77	13	20	33	27	55	75	10	9
総合評価（簡易型・標準Ⅱ型）	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,933	7,230	2,644	2,644	2	0	0	0	0	0	1	0	0
総合評価（旧標準型・標準Ⅰ型）	378	686	921	725	691	211	255	150	43	43	2	0	0	0	0	0	0	0	0
総合評価（施工能力評価型（Ⅰ型））								341	2,046	2,046	1,256	1,462	1,501	1,650	1,373	1,699	1,249	587	97
総合評価（施工能力評価型（Ⅱ型））								392	4,439	4,439	5,577	4,577	5,839	4,600	4,562	5,196	5,500	4,712	1,337
総合評価（技術提案評価型（S型））								68	412	412	376	364	306	448	314	248	123	35	2

注1） 8地方整備局の工事を対象 （港湾・空港関係工事を除く）、価格競争を含む。
注2） 注1）の工事のうち、契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計
注3） 各年度の工事件数は契約年度別で整理
注4） 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。